

第1章 計画策定にあたって

第1章 計画策定にあたって

本市は、豊かな自然や開国の歴史があるまちとして、これまで観光を基幹産業とし発展してきており、現行の下田市観光まちづくり推進計画（平成25年4月策定、計画期間：令和2年度までの8年間。以下、「現行計画」とする。）に基づき、さまざまな事業や取組を展開してきました。

本格的な少子高齢化社会を迎える中で、今後も本市が持続的に発展していくためには、観光・余暇のあり方の変化に的確に対応し、交流人口と市内消費の拡大を図っていくことが不可欠です。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や情報発信技術の一層の進展等による観光分野を取り巻くあらゆる時代の変化に対応し、豊かな自然・開国の歴史・地域の文化等の資源の価値を地域一体で磨き上げ、本市の魅力を内外に広く伝えていくための具体的な取組をまとめる必要があります。

このような背景のもと、今後5年間の観光振興の方向性とその実現に向けた取組を明らかにし、第5次下田市総合計画における、まちの将来像「時代の流れを力に つながる下田 新しい未来」を実現するための指針として、第2次下田市観光まちづくり推進計画（以下、「本計画」とする。）を策定します。

1 計画の期間

本計画の期間は、日々刻々と変わる観光客のニーズや社会情勢に対応していくため、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

なお、社会・経済・自然環境の変化等により、見直しが必要になった場合は、第5次下田市総合計画等と整合を図って見直すものとします。

2 計画の位置づけ

本計画は、第5次下田市総合計画の分野別計画として位置づけられ、本市の観光施策の具体的な行動指針とします。

また、本計画を推進するためには、行政のみでなくすべての市民や事業者、市民活動団体等との協働が必要不可欠です。あらゆる主体とともに歩み、共有する計画とします。

